

青い樹



特集：
勇気をもって、伝えよう
「変える力」～「少年の主張大会」から～
いじめについて考える



ひとりで悩まず、相談してみませんか？
今、私たちにできることー災害ボランティアー
気軽に立ち寄れる『居場所』があるって知っていますか？

青少年育成青森県民会議



特集 勇気をもって、伝えよう

🏆 第32回青森県少年の主張大会 最優秀賞
(平成22年「少年の主張全国大会～わたしの主張2010～」努力賞)

「変える力」



青森市立沖館中学校(平成22年度)
2年 比内 男 樹

ある日のことでした。学校のトイレで用を足しているとき、突然後ろから蹴られたのです。うさばらしのための、いたずらでした。中学に入ってまもないぼくは、突然の出来事に、納得できず、くやしくて泣いてしまいました。

ぼくの周りでは、こんなことがときどきあります。理由もなく、人に体当たりしたり、ものにあたったりする人がいるのです。

そして、一番気になるのは人を馬鹿にする言葉が、ひんぱんに聞こえてくることです。「クズ」「キモイ」「死ぬ」……。こんな言葉が、軽々と口から吐き出されているのです。聞けば、どのクラスも、どこの学校も、まるで当然のようにそうだと言います。

ぼくは、それが普通だとは思えません。そんな言葉を簡単に言えることに、抵抗を感じます。

教室の中で、また、いつものように、「クズ！」という言葉が聞こえたときのことで。ぼくは、言われた人を見て愕然としました。みんなの前で「クズ！」と言われたのに、ただ黙って、それどころか、その人に合わせて苦笑までしているのです。

そして、その言葉を発した本人は、何の悪気もなく、むしろ、言ってスッキリしたような顔をしているのです。

「おかしい！」そう感じました。言った人も、言われた人も、その空気を当然のように感じている周りも、これではいけません。どうして、「ダメなことをダメ！」と言えないのでしょうか。これが当たり前になったら、世の中はおそろしいことになります。

ぼくは、「変わらなければならない」、そう思いました。こういう日常が当たり前になるからこそ、「小さなことだ」と見過ごされるからこそ、やがて取り返しのつかない「いじめ」や事件に発展するのです。ぼくたちの身の周りには、そういう危険な芽が、あふれているのです。

ぼくは、トイレで蹴られたとき、しばらく考えてから、「このままではいけない」と思い改め、勇気を出して先生に相談しました。先生は、本人とつき合わせて、話す機会を与えてくれ、注意もしてくれました。その後、相手は同じことをしなくなりました。

自分にいやなことをした人に、面と向かって気持ちを伝えるのは、本当に勇気がいることです。でも、自分がされたことを「いやだ」と、伝えなければ、その人は一生気づかず、どんどんエスカレートしてしまうのです。

ぼくたちは、だれでも変えられるし、人を変える力も持っていると思います。正しいことが正しいと、まちがっていることをまちがっている、声に出せない現状を変えていかなければなりません。しっかりと、人と人とが向き合って、対話しなければならないと思うのです。

携帯やメール、ネット…。ますます、人と人とが、顔と顔を突き合わせなくなって、言葉だけが行き来する時代になってきました。でも、人と人が向き合うことが大切なのです。人と人とが向き合うということは、心と心が向き合うことです。そうして、その表情や雰囲気から、文字からはうかがいしれないその人の心を読み取ることができるのです。

ぼくは、今のぼくたちにとって、それが一番大事だと思っています。決して、暴力や、言葉という武器で解決してはいけません。自分自身が変わろうとする「心」、そして、正しくない人を変えていこうとする「心」を、ぼくたちはみんなもっているのです。

ぼくは今、変わろうとしている最中です。今度は、自分以外の人が、いやな思いをしているときに、勇気を与え、相手を注意したいと考えています。ぼくたち、一人一人がもっている「変わる力」は世の中を「変える力」だと信じて一。

「こころ」はだれにも見えないけれど

「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけれど

「思いやり」はだれにでも見える



(宮澤章二「行為の意味」より)

いじめについて考える



事務局長
神 重 則

人に嫌な思いをさせて許される権利なんて誰も持っていない

皆さんは、「人権」って聞いたことがありますか？辞書には「人間が人間として当然に持っている権利」と書いてあります。

学校ではどうでしょうか？一人ひとり全員が持っている権利、それは「他人に嫌な思いをさせられずに学校生活を送る権利」です。そして、誰一人持っていない権利、それは「クラスメートや後輩など他人に嫌な思いをさせても許される権利」です。嫌な思いをさせられたら、我慢していないで先生にお話ししてください。担任の先生や部活の顧問の先生に話しにくい場合は、保健室の先生や教頭先生、校長先生に。早ければ早いほど良いです。

「いじめ」はシグナル・・・

もっと親にかまって欲しい、ほめて欲しい、話を聞いて欲しくてもそれができないさみしさを「いじめ」ではらそうとする子ども、親から期待されすぎて自分で思うように生きられず、ストレスをためて「いじめ」に走る子どももいます。

「自分のために」人に優しくしよう

「いじめ」を見て見ぬふりをする人、誰かに言われるままに「いじめ」に加わる人も「いじめ」を受けている人からすれば「いじめ」をしている人と違いはありません。人間として恥ずかしいことです。なぜなら、人間として何が正しくて何が間違っているか、自分の考えや行動に責任を持たなければいけないからです。仏教に、「因果応報

(いんがおうほう)」という言葉があります。「因果」とは、「原因」とその「結果」という意味ですから、良い種をまけば良い実がなり、悪い種をまけば悪い実が必ずなるということです。この「果」はすぐに現れるものと、ずっと後で現れるものがあります。人に優しくする、人に嫌な思いをさせないというのは、実は自分自身にとって大切なことなのです。

「気骨の判決」に見る真の強さと優しさ

第2次世界大戦のさなか、昭和17年に行われた衆議院議員選挙では、当時の東條英機内閣のもとで、国の体制に非協力的な候補者に対する組織的な選挙妨害活動が行われました。落選した(させられた)候補者により次々と起こされた選挙無効訴訟で、唯一「選挙無効」判決を書いた大審院(今の最高裁判所)判事がいました。吉田久判事は様々な圧力に屈することなく、180人以上を証人尋問し、選挙無効と判決したのでした。これが名高い「気骨の判決」です。彼は、戦後、「正義とは何か」という問いに、「正義とは、倒れているおばあさんがいれば、背負って病院に連れて行ってあげるようなことだ。」と答えています。

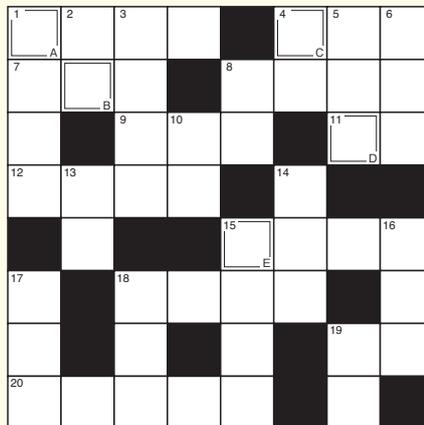
英国の文豪レイモンド・チャンドラーは、「強くなければ生きてゆけない、優しくなければ生きる資格がない。」と著書「プレイバック」で書いています。私は、法を守るという自らの信念を貫いた吉田久判事に、人間としての真の強さと優しさを感じます。皆さんも、何が正しくて、自分はどうすべきなのか、現実から目を背けず判断し行動できる人であって欲しいと願っています。

クロスワードパズルに挑戦!

A~Eの文字を並べるとみんなへのメッセージが。「答えと感想」を書いてどんどん応募しよう!!

【タテのカギ】

- 見つけると飛び上がるほど嬉しいことが由来と言われるキノコ。
- 鱒と一緒に扱われることが多い魚。海で3~4年過ごし、成魚になって生まれ故郷の河に産卵のために戻ってくる。
- 日本では長崎が発祥と言われる洋菓子。
- 物事が存在しない。持っていない。⇨有
- 火消しが目印として火事場で使ったもの。
- バラ科の落葉高木樹の果実。平成21年度の青森県の収穫量は全国1位。
- 心がひかれること。気に入ること。
- 英語で、場所・位置などを表す前置詞。⇨アウト
- 10本の腕をもち、敵にあうと墨を出して逃げる。
- 〇〇〇〇応変。
- 7月24日でアナログテレビ放送が終了し、地上〇〇〇〇放送に完全移行する。
- 小麦粉を食塩水でこね、薄く延ばして細長く切った麺(めん)の一種。
- 粘土を一定の形に作り焼いたもの。主に屋根に使われる材料。
- 今年の夏は、15%節電のためエアコンの設定〇〇〇を28度にしよう。
- 青森県は三方を〇〇に囲まれ、おいしい魚がたくさん獲れる。



【ヨコのカギ】

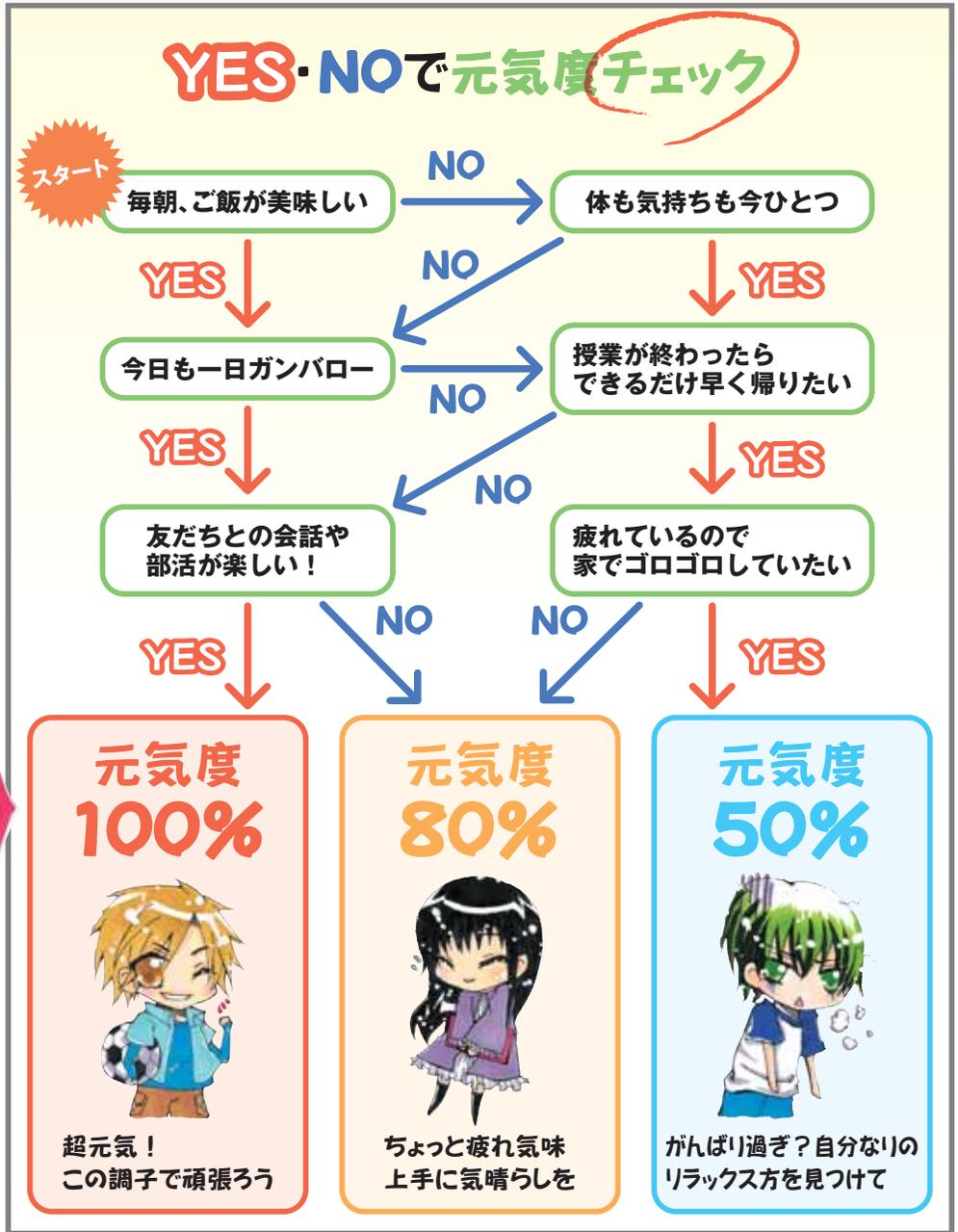
- 下北半島は、その形から〇〇〇〇半島と呼ばれることがある。
- 標準語・共通語とは異なった発音。
- 漁獲した魚貝類を一定期間飼育しておくための施設。
- 小麦粉の団子(だんご)を入れた汁物。地方によっては「ひつまみ」とも呼ばれる。
- あることが行われる時期が定まっていること。また、一定の期間や期限。
- 白黒の石を板へ交互に配置し2人対戦するゲーム。しばしば将棋(しょうぎ)と並んで語られる。
- にわたりの卵。
- しきたりなど古くから受け継がれてきた事柄。
- 平たいガラス製・陶製の小さい玉などをばらまき、一人ずつ順番に指先ではじいて当てたものを取り合う遊び。
- 人間の意志を超越したはたらき。天命。「〇〇を天に任せる」。
- 小学生が学校に背負っていくかばん。

応募方法

ハガキ又はFAX(017-734-8050)に、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤クロスワードパズルの答え⑥本誌の感想をご記入のうえ、〒030-8570 青森市長島1-1-1 青森県環境生活部 青少年・男女共同参画課内「青少年育成青森県民会議事務局」までお送りください。抽選で10名様に図書カード(1,000円分)を差し上げます 締切:平成23年8月31日(水)当日消印有効

あなたは、ひとりで悩んでいませんか？

— ひとりでかかえ込まずに、相談してみませんか —



ひとりで悩まず、相談してみませんか？

青森県総合社会教育センター
「ふれあいテレホン」 毎日10:00～16:00
※祝日、年末年始を除く

☎017-739-0101

〈メール相談〉携帯電話からは <http://kosodate-a.net/>
パソコンからは <http://kosodate-a.net>

県教育庁学校教育課
「いじめ相談電話24」 24時間
※月～日、年中、祝日等も対応。

☎017-734-9188

青森県方法務局
子ども人権110番 8:30～17:15※
※勤務時間のみ

☎0120-007-110

青森県警察本部
「ヤングテレホンコーナー」 8:30～17:00
※勤務時間のみ

☎0120-58-7867

ヤングメールアドレス youngmail-587867@extra.ocn.ne.jp

24時間 ☎017-735-9110【ブッシュホン #9110】



青森県総合学校教育センター
「一般教育相談」 電話相談8:30～17:00※
面接相談9:00～17:00※

☎017-728-5575

児童相談所 8:30～17:15※

中央児童相談所 ☎017-781-9744

弘前児童相談所 ☎0172-32-5458

八戸児童相談所 ☎0178-27-2271

五所川原児童相談所 ☎0173-38-1555

七戸児童相談所 ☎0176-60-8086

むつ児童相談所 ☎0175-23-5975

※土日、祝日、年末年始を除く

今、私たちにできること

ー災害ボランティアー

今年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、私たちの住んでいる青森県にも大きな被害をもたらしました。

県内の市町村では、八戸市と三沢市に災害ボランティアセンターが設置されました。このセンターでは、ボランティアの依頼と派遣のマッチングなどの支援活動が行われ、家屋からの泥掃除、避難所の清掃、救援物資の運び出しなど様々なボランティア活動が行われました。こうした中、日頃から社会のために役立ちたいという思いを抱き、震災を機に行動に移した青少年の姿もたくさん報道されています。

今回は、多くの災害ボランティア活動の中から、青森県立三沢高等学校3年生の助川純麗さん、須田山耀さん、別部ユリアさんの3人にお話を伺いました。

今回どうしてボランティア活動をしようと思ったのですか？

停電で学校が休みだったこともあり、何かやりたいと思ったんです。最初は、海岸のがれきの撤去をやりたくて市役所に問い合わせしてみました。その後、三沢市のボランティアセンターに登録したら、翌日にすぐ要請がありました。

3月17日(木)に、三沢市勤労青少年ホームでがれき撤去のボランティア活動をしている人たちのための昼食を作りました。その日は、高校生は私たち3人、あとは大学生と大人の人たち20人くらいでした。停電していたので、大人の人がガスでご飯を炊いて、みんなでおにぎり200個くらい作りました。

いろんな人と一緒に実際にボランティア活動をすることができ、とてもいい経験になりました。



左から別部ユリアさん、須田山耀さん、助川純麗さん

3人ともボランティア部に所属しているのですか？

私たちはボランティア部ではなく、3人ともバスケット部です。だから、体力にも自信があったので、実際に被災地に行って活動してみたかったし、口だけではなく、実際に行動に移さないと意味がないと思いました。

今は学校のボランティアバンクにも登録しているので、これからも機会を見つけてボランティア活動をしていくつもりです。

長谷川先生(ボランティア部顧問)

本校はボランティア活動が活発で、ニュージーランド大地震の際には、生徒会が中心になって募金活動をしました。また、「ボランティアバンク」というシステムがあり、生徒たちは日頃からいろいろな活動をしています。

このバンクは、県立田名部高校(むつ市)の取組みを参考に、5年前から本校でも取り入れているシステムで、生徒が自主的にボランティア活動をするための登録制度です。地域団体から依頼のあったボランティア活動を生徒玄関に掲示し、生徒たちが自分でやりたいと思ったボランティア活動を自主的に行うことができます。希望する生徒は誰でも登録できます。昨年度は、延べ259人の生徒が様々なボランティア活動に参加しました。

また、今回の災害では、助川さんたちやボランティア部の他に、生徒会や吹奏楽部員による募金活動などが行われました。

上野先生(柔道部顧問)

柔道部では、米軍三沢基地で消防士として働いている保護者の方から、「是非、子どもたちにも体験させたい」というお話をいただき、部員7人が二川目養豚場で泥掃除活動を行いました。

横山教頭

こうした活動は、生徒自らが積極的、自発的に行ったものであり、学校や部活動以外のいろいろな人との関わりを経験できることから、地域社会の一員としての意識を深めたり、地域づくりへの参画などを進める上で、非常に良い機会になると考えています。

生徒たちにとって、活動を通して学んだ思いやりの心やコミュニケーション力が大きな財産になり、将来きっと役に立つものと信じています。



柔道部員:二川目養豚場

今回の震災は、青少年が、何か社会のために役立ちたい、自分にできることから始めてみようという「思い」を行動に移すきっかけになったようです。今後も青少年がこうした活動に取り組んでいけるよう、学校、関係機関そして地域が連携し、活動の輪を広げていくことが大切なのではないでしょうか。

気軽に立ち寄れる『居場所』があるって知っていますか？

県内には、小学校高学年から高校生までの子どもたちが、学校が終わった後の時間を自由に安心して過ごせる空間が5カ所設置されており、各空間によって、ものづくり体験など様々な取り組みが行われています。

一人でも、友達と一緒にでも、行きたいときにいつでも気軽に行ける、そんな『居場所』にあなたも立ち寄ってみませんか？

むつ市「ティーンズステーション“ほれぼれ”
 (運営：NPO法人むつ下北子育て支援ネットワークひろば)
 住所：むつ市柳町1-8-1 木村ビル1F
 開設時間：13:00～19:00
 (土曜日は10:00～19:00、日・祝日はお休み)
 問合せ先：0175-34-9919
 ホームページ：http://www.geocities.jp/hiroba_mutsu/

五所川原市「ティーンズステーション“ふらっと”
 (運営：NPO法人子どもネットワーク・すてっぷ)
 住所：五所川原市元町53
 開設時間：15:00～18:45
 (土・日・祝日はお休み・小学生は17:00まで)
 問合せ先：0173-34-2170
 ホームページ：<http://kodomostep.fc2web.com/>

十和田市「ハピたのキャンパス」
 (運営：NPO法人十和田NPO子どもセンター・ハピたの)
 住所：十和田市稲生町15-24 パルコビル4F
 開設時間：11:00～19:00(日・祝日はお休み)
 問合せ先：0176-23-0853
 ホームページ：<http://www.hapitano.jp/>

弘前市「ふらっとキャンパス(略称“ふらキャン”)
 (運営：NPO法人弘前こどもコミュニティ・びーぶる)
 住所：弘前市一番町5 正阿弥ビル3F
 開設時間：15:30～19:00
 (土曜日は13:00～18:00 日曜日はお休み)
 問合せ先：0172-34-0171 ※祝日については、要確認
 ホームページ：<http://hirosakipeople.blog134.fc2.com/>

八戸市「どりーむキャンパス」
 (運営：はちのへ子ども劇場)
 住所：八戸市三日町11-1 はっち4F
 開設時間：15:00～19:00(毎週火曜日は休み)
 問合せ先：0178-22-5822
 ホームページ：<http://www.kodomohacchi.com/>

～ 会員を募集しています ～

青少年育成青森県民会議は、地域での青少年活動及び育成活動をより一層活発に進めるため、すべての県民による青少年育成運動の推進を目指しています。この運動は、地域のすべての大人が、明日の地域社会を共に作っていく仲間としての青少年の育成に主体的に関わり、住み良い地域社会をみんなで作っていくというもので、運動の趣旨にご賛同・ご協力いただける会員を広く募集しています。加入の申込は随時受け付けておりますので、下記事務局までお問い合わせください。

会費 [正会員] 青少年育成活動を協働して推進していただける団体・個人・・・年会費 団体会員：6,000円 個人会員：3,000円
 [特別会員] 県民会議の趣旨に賛同して支援していただける団体・個人など・・・年会費 団体・個人とも 10,000円以上
 ※会員には、①総会・研究大会のご案内、②機関誌「青少年あおり」(年2回発行)の送付、③青少年啓発情報誌「青い樹」の送付、④「家庭の日」カレンダーの送付の特典があります。

振込口座 青森銀行県庁支店：(普) 80533 みちのく銀行青森支店：(普) 2407576 ゆうちよ銀行：02320-3-10820
 ※口座名義はいずれも「青少年育成青森県民会議 会長 石澤善成」

青少年育成青森県民会議事務局

青森県環境生活部 青少年・男女共同参画課内 〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL.017-734-9224
 青森県庁ホームページ (<http://www.pref.aomori.lg.jp>) 内で検索 **青少年育成青森県民会議** **検索**

